

中期目標	中期目標期間 法人自己評価	法人自己評価理由	評価委員会意見要旨等	H28 市評価	H29 市評価	H30 市評価	静岡市 期間評価	静岡市評価理由
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置								
大項目評価	A	市内輪番体制の維持が喫緊の課題となっている中、新設した救急科を中心とした救急医療体制により、市内公的病院で最も多い救急搬送患者の受け入れを行い、地域の救急輪番体制の要として貢献した。平成29年4月より導入したPET/CTの稼働などにより高度医療の提供を実施した。熊本地震では当院の災害派遣医療チーム(DMAT)の現地派遣など、災害拠点病院としての活動を行った。臨床研修医の採用は3年連続でフルマッチングし、看護師採用においては安定した採用により7対1看護配置体制を前倒しで実現させた。関係機関との連携ではイーソーネット(疾患別連携システム)や病診がんカンファレンスなどに取り組み、紹介率・逆紹介率の向上に努めた。新設した「医療がつながる「ひと」と「地域」の交流センター」を中心に「静岡市民『からだ』の学校」を毎年開催し、中山間地域では心肺蘇生AED実践型セミナーを併せて行うことで、参加者の知識習得に努めた。市教育委員会及び学校と連携した「がん教育」の推進など市民に向けた積極的な医療情報の発信による社会活動を行った。これらの実績によりA評価とした。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Aが基準であれば、「A」評価でよい。</li> <li>・市長が認めれば「S」評価になることはあるか。</li> </ul>	A (順調)	B (概ね順調)	A (順調)	A (目標を達成)	<p>大項目 第1について、ほとんど全ての項目において、計画通り順調に取組を進めてきた。</p> <p>特に「高度医療」「臨床研修医の育成」「医療・保健・福祉・介護機関との連携」の項目においては、中期目標期間の全ての年度において、計画以上の取組を実施しており、市が求める市立病院の役割を十分に果たしていると言える。</p> <p>一方、「患者ニーズに応じた医療・病院環境の提供の項目においては、平成29年度に成果指標である患者満足度調査結果が目標に満たなかったため、やや低い評価ではあったが、その後の改善の結果、平成30年度は、ほぼ目標どおりの調査結果となり、改善の努力が認められる。</p> <p>これらの実績等について総合的に判断した結果、市が求めた中期目標について、「A(目標を達成した)」と評価することが適当である。</p>
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置								
大項目評価	A	働きやすい職場環境を目指し、医師の長時間労働の改善を目的とした「変形労働時間制度」、多様な働き方の実現に向けた「介護短時間勤務及び短時間勤務制度」を導入した。また、ストレスチェック、ハラスメント防止研修など職員の心理的負担を軽減する取り組みを進めた。認定看護師などの資格取得に向けた費用負担や、研修会開催などにより職員の自己啓発への支援を実施。組織体制では新たに「経営課」「医療がつながる「ひと」と「地域」の交流センター」「総合相談センター」「がん相談支援センター」「教育研修管理センター」などを設置し幅広いニーズへ柔軟に対応した。日本医療機能評価機構の認定更新に向けた取り組みや患者意見への対応など、外部評価を活用した病院運営に努めた。事務部門では他病院勤務経験者など実務者を採用し派遣職員から法人職員への切り替えを実施した。これらの実績によりA評価とした。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価「A」で問題ない。この分野に関して、組織再編、事務部門の強化等、一番力を入れてきた部分だと思う。</li> <li>・評価基準について、点数化する等、もう少し数値で明確にしたほうがよい。</li> <li>・評価基準自体がほんやりしているため、自己評価理由もきっちりしていない印象である。評価を行う数値が入っておらず、文章だけでは評価するのが困難であるため、数値をいれて、評価基準ももう少しきっちりするよう見直しをしてほしい。</li> </ul> <p>→(評価基準 市回答) 来年度から第2期の評価が始まるが、その時までには新しい評価基準で行えるよう準備していきたい。</p>	A (順調)	A (順調)	A (順調)	A (目標を達成)	<p>大項目 第2について、「働きやすい職場環境と職員のやりがいづくり」と「業務運営体制の構築」の全ての項目において、計画通り順調に取組を進めてきた。</p> <p>特に「働きやすい職場環境の整備」の項目においては、平成29年度に医師の負担軽減等に係る課題解決の取組として、新たに変形労働時間制を確立する等、計画以上の取組を実施しており、法人の職場環境について積極的に改善していこうとする姿勢が認められる。</p> <p>これらの実績等について総合的に判断した結果、市が求めた中期目標について、「A(目標を達成した)」と評価することが適当である。</p>
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置								
大項目評価	A	経営改善プロジェクトなどによる施設基準の新規取得や算定率の向上を図り、入院単価と収入の改善に努めた。費用節減策として後発医薬品への切替えや、外部アドバイザー同席による薬価交渉、診療材料費の価格交渉など費用適正化への取組を行った。また、職員の意識改革として外部講師による院内講演会や研修を開催した。これらの実績によりA評価とした。		A (順調)	C (やや遅れ)	A (順調)	A (目標を達成)	<p>大項目 第3について、法人の中期目標期間の経営成績は、平成28年度が4億4,800万の黒字、平成29年度が1億9,400万の赤字、平成30年度が6,600万の黒字という結果で、最終的に中期目標期間全体で3億2,000万円の黒字となった。</p> <p>特に平成30年度は、前年度の赤字から、政策的に収支改善の取組を病院全体で取り組み、1年で黒字化を図ったことは大いに評価できる。</p> <p>これらのことより、当該中期目標期間において安定的な経営を維持できたことから、市が求めた中期目標について、「A(目標を達成した)」と評価することが適当である。</p>
第4 その他業務運営に関する重要事項に係る目標を達成するためとるべき措置								
大項目評価	A	電力消費量やCO2排出量の削減を図るため、環境負荷の少ないLED照明への順次切替え、温水ポンプの制御機能の改善などを行った。紙の分別収集に取り組みゴミの減量と処理費用の縮減を図った。これらの実績によりA評価とした。		A (順調)	A (順調)	A (順調)	A (目標を達成)	<p>大項目 第4について、期間全体を通して、環境負荷の少ない機器への切り替えやリサイクル推進による廃棄物の減量等の環境に配慮した取り組みを計画通り順調に進めてきた。</p> <p>実績等について総合的に判断した結果、市が求めた中期目標について、「A(目標を達成した)」と評価することが適当である。</p>